Smile Action Tokachi
その笑顔が、十勝を動かしていく。

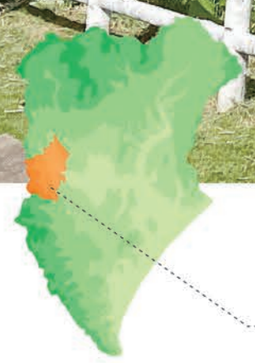
企画・制作／十勝毎日新聞社

Smile Action From Town ＃トカチのチカラ

十勝には、自然・食・人々など、たくさんの“チカラ”があります。十勝毎日新聞社では、管内19市町村の活動と情熱にフィーチャーし、未来を担う人たちや取り組み、これからも残していきたい資源など、まちの魅力を徹底報道します。

清水町のチカラ

Photo：清水円山展望台から望む風景



SHIMIZU

DATA

●人口 2021年7月末時点
9,226人

●町の木　ナナカマド
●町の花　スズラン
●町の鳥　ウグイス

●町名の由来

アイヌ語の「ペケレベツ」を和訳したもので、明るく清らかな川という意味である。大正4年4月人舞村と称したが、昭和2年に清水村と改め11年に清水町となったものである。

「Smile Action Tokachi」に、ご協賛いただいたみなさま

リフォームプランニング あったかホーミング
池田町ブドウ・ブドウ酒研究所（北海道池田町 十勝ワイン）
時計・宝石・メガネ 石岡
株式会社 石橋建設
有限会社岩野商事
SMBC日興証券
Orchestrating a brighter world NEC
NK GROUP
F/LEAD
豊かな十勝の未来のために 帯広信用金庫
SUBARU 帯広スバル自動車株式会社
帯広日産
MITSUBISHI MOTORS Drive your Ambition 帯広三菱自動車販売株式会社
AKTOグループ 共成レンテム RENTAL SYSTEM CONDUCTOR
釧路トヨタ自動車㈱
湖 KOIKEYA
Coca-Cola
斉藤井出建設株式会社
乾杯を もっとおいしく。 SAPPORO
SANYO KONETSU 三洋興熱株式会社
ひとの ときを、想う。 JT
総合コンサルタント 株式会社 ズコーシャ
総合商研株式会社
SoftBank
そら
Think globally Act locally 株式会社 土谷特殊農機具製作所
TKS SINCE 1874 株式会社 東京機械製作所
東洋タクシー有限会社 Obihiro Toyo Taxi Company
十勝海運株式会社
TOKACHI 株式会社 十勝大福本舗
希ピリカ 鳥せいチェーン
株式会社ナカジマ薬局
Nikon Trimble
NOBELS ノベルズグループ
萩原建設工業株式会社
フクハラ
FUJIFILM Value from Innovation
FURUKAWA ELECTRIC GROUP
社会医療法人 北斗
北洋銀行
北海道糖業株式会社
MATEC
健康にアイデアを meiji
うらほろ! 株式会社 ユーエム
UD TRUCKS UDトラックス道東株式会社
北海道のおいしさを、まっすぐ。 よつ葉
Rakuten 競馬
北の自然薯 柳月
レクサス帯広
楽しいをデザインする LOGOS HOME 株式会社 ロゴスホーム
Wada Koumuten 株式会社 和田工務店

（第3種郵便物認可）　十勝毎日新聞　2021年（令和3年）9月22日（水曜日）　（12）

先人の培った歴史 未来につなぐ

清水町長　**阿部　一男**

　清水町は1898（明治31）年に渋沢栄一翁が設立した十勝開墾合資会社によって開拓のくわが下ろされました。季節ごとにその彩を変える日高の山並みに抱かれた大地に希望を求め、多くの方が入植し、美しくも厳しい自然に翻弄（ほんろう）されながら開拓を続けたそのたくましい精神は、脈々と町民に受け継がれ、文化の薫（かお）り高い、農業を基幹産業とする今日の清水町が築かれ、来年には十勝開墾合資会社による入植から125年、開町120年の記念すべき年を迎えます。

　本町は近年、牛乳生産量は十勝で1位を誇っておりましたが、昨年は農業産出額（2019年農林水産省統計調査）においても十勝で1位となり、地域に根差した食品製造業も盛んな経済基盤の強い町です。

　町民アンケートによると、町民が「町の強み」として挙げたものが四つあります。

　一つ目は「交通の要衝」、二つ目は「豊かな自然と景観」、三つ目は「食と農業」、四つ目は「第九やアイスホッケー等の文化スポーツ」です。

　道東の玄関口と呼ばれるほどの交通の利便性に加え、NHK連続テレビ小説「なつぞら」のオープニングを飾った雄大な自然景観、ニンニク、アスパラ、十勝若牛、乳製品などに加え、牛玉ステーキ丼や牛とろ丼など知名度が高いグルメもあります。そして、子どもから高齢者まで、第九の合唱やアイスホッケーに親しむ文化・スポーツ活動が盛んな町です。

　今後人口減少、少子高齢化を迎える中で、近年は特に結婚、出産、子育ての希望をかなえるまちとして、ライフステージに合わせた切れ目ない支援に加え、教育環境の充実に力をいれてきました。

　本町の第6期総合計画のキャッチフレーズは「まちに気づく　まちを築く　とかち清水～想いをミライに繋ぐまち～」です。町民一人一人が、先人により培われた歴史や豊かな自然、産業を大切にし、人との絆や心のつながりがあふれるまちを築き、ミライにつないでいくことが、この町のさらなる発展につながると信じています。

清水は畜産も盛ん。「十勝清水牛玉ステーキ丼」や「牛とろ丼」など、地元の畜産資源を生かした丼メニューは知名度も高い（写真は2019年9月の第2回十勝清水肉・丼まつり）

ニンニク産地でパンチ

食卓に彩り 加工品も高評価

　酪農・畜産の町として確固たる地位を築く清水だが、近年は「ニンニクの町」としても注目が高まる。味良し、香り良しの「十勝清水にんにく」はそのまま食べるのはもちろん、さまざまな加工品となって食卓を風味豊かに彩る。

ニンニク加工品をPRする、十勝清水にんにくのマスコット「しみずガーリック王子」

　JA十勝清水町（氷見隆雄組合長）は高収益作物としてニンニクに着目し、2009年に試験栽培を開始した。高品質のニンニクを市場に安定供給するため、病気に強いウイルスフリー苗の開発や、種苗生産体制・集出荷施設の整備、加工品開発などに取り組み、「十勝清水にんにく」のブランド化を推し進めてきた。

　0・63㌶で始まった栽培は今では25㌶を超え、作付面積全国2位である北海道の4分の1を占める。19年にはニンニクの「産地化」を宣言。町内外にそれをPRするため、町や町商工会、町観光協会などと共に「十勝清水にんにく肉まつり」を開いた。祭りではニンニクのホイル焼きと、こちらも同JAのブランド牛「十勝若牛」をバーベキューで味わうという"間違いない"組み合わせで、多くの来場者の舌を喜ばせた。

ホイル焼き 若牛とぴったり

「にんにく肉まつり」で、十勝清水にんにくを味わう来場者

　「十勝清水にんにく」は、同JAの完熟堆肥「しみず有機」で育てられた「とれたんと」ブランドの作物の一つ。「えぐみが少なく、香りの良さとみずみずしさが特徴」（同JA）という。本場・青森県産が品薄になると清水に引き合いが来るほど、市場で評価されている。

　加工にも適しているのがニンニクの利点。「いろいろ試作するが、何をやってもおいしい」と同JA。そのまま発酵・熟成させた「黒にんにく」をはじめ、黒にんにくと十勝若牛のうま味が溶け込んだカレー、粉末加工したニンニクを風味付けに使ったスナック菓子「とかリット」、ニンニクが香るマヨネーズやマスタードなど、次々に加工品を送り出している。

　栽培面積拡大の課題は作付けや収穫の手間。十勝の広い畑で効率よく作業できる機械が国内には無いため、同JAは20年にニンニクの主産地スペイン製の播種（はしゅ）機と収穫機を導入した。作業効率は従来機の6～7倍という。今後さらに供給量が増え、「ニンニクと言えば十勝清水」となることが期待される。

作付面積拡大を後押しすると期待されるスペイン製の収穫機

「にんにく肉まつり」で来場者を喜ばせた、ニンニクのつかみ取り

公園でキャンプ気軽に

試験開放 初心者にも好評

　帯広から車で約40分、清水市街地から2㌔ほどに位置する清水公園。サクラやツツジの名所で、大きな池でボートに乗って遊んだり、泳いでいるコイに餌をあげたりすることもできる。パークゴルフ（PG）場やカフェもあり、幅広い年代が楽しめる公園だ。

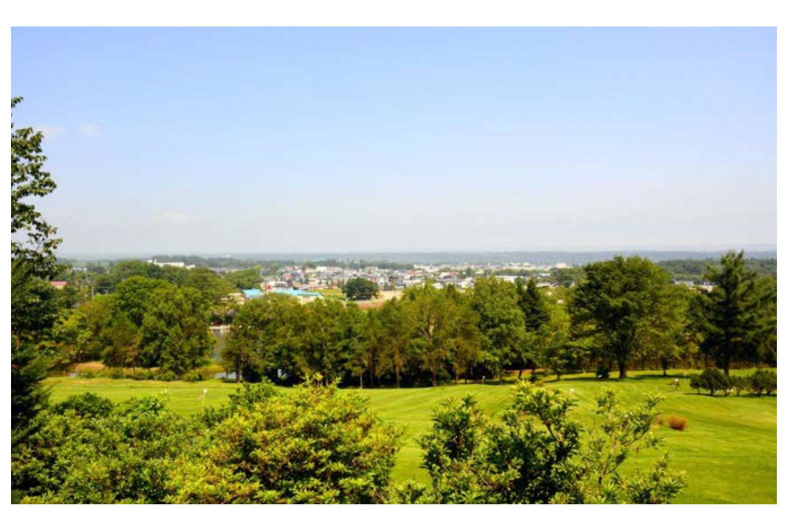
8月に試験的に開放されたテントサイト。手軽にキャンプができる―と好評だった

　町観光協会は8月にこの公園の一部を試験的にテントサイトとして開放した。同公園の最も高い場所に設定し、バーベキューハウスやトイレ、水道設備が近い。少し歩くと眺望も良く、のんびりとできる。

　試験開放は十勝管内在住者限定で計5日間行われた。利用者には町内や帯広などの家族連れも目立った。家族で利用した町内の男性は「天候が悪くなったとしてもすぐに自宅に戻れる。テントを張ってバーベキューをするだけでも楽しめる」と話していた。

　帯広から小学生や幼児を連れて家族でキャンプした父親は「役場近くの噴水で遊んでから公園に来た。市街地から近いので買い忘れた物があってもすぐに店に行ける。帯広から遠すぎず近すぎない距離で、キャンプ初心者にはいい場所」と楽しんでいた。

　町観光協会事務局は「さまざまな可能性を秘めている公園。いろいろなことを試して魅力アップにつなげたい」としている。



テントサイトから少し歩くと清水町市街の眺望が楽しめる

入植者の暮らし支えた渋沢栄一

十勝開墾合資会社が1919年に建築した畜舎は今も使われている

　近代日本経済の父といわれ、NHKの大河ドラマ「青天を衝（つ）け」のモデルにもなった渋沢栄一は、清水町とも縁が深い。渋沢らが1898（明治31）年に設立した十勝開墾合資会社による集団入植が、清水町の本格的な開拓の始まりとなった。

　同社は渋沢が発起人となって設立した。現在の町熊牛地区の原野に福井県出身者を中心に26戸99人が入植。年々入植者を増やし、大正初期までには管内随一の規模を誇る大農場に発展した。

　旧日本甜菜製糖（後に明治製糖）は、1921（大正10）年に清水工場の操業を開始し、23（同12）年に十勝開墾合資会社の株式の大部分を取得。明治製糖は所有する農場の経営を同合資会社に委託。同合資会社は最盛期には経営面積8000㌶、小作農550戸を数えるまでになった。

寄付で神社や学校設立

十勝開墾合資会社が土地や工費を寄付して建てられた大勝神社

　十勝開墾合資会社は入植者の暮らしを向上させることにも積極的だった。設立から3年後の1901（明治34）年には、町の学校教育の始まりとなった熊牛簡易教育所（旧熊牛小）を所有地で創立した。12（大正元）年に完成した大勝神社（熊牛63）、29（昭和4）年に落成した寿光寺（熊牛64）も同社から土地や工費の寄付を受けて建てられた。同寺は渋沢の雅号「青淵」を山号とし、渋沢直筆の扁額（へんがく）が掲げられている。

　町は2020年、町内に残る渋沢ゆかりの地を紹介するパンフレットを作製。同社が建てて今も使われている畜舎（熊牛11）など、史跡の看板を更新、新設した。阿部一男町長は「十勝開墾合資会社の功績で最も大きいのが、早くから小作人が自作農として独立できる仕組みを整えていたこと。そのことが清水の農業や町が発展する礎となっている」と話している。

十勝清水町　ふるさと納税

6つの項目から使い道を指定できます!

清水町では、みなさまからの寄附金を6つの事業に活用しています。この6つの事業は、清水町が目指すまちの将来像

『まちに気づく まちを築く とかち清水 ～想いをミライに繋ぐまち～』

を実現するために活用されます。これは、「豊かな自然と先人より培われた歴史や地域性豊かな資源を尊重し、郷土愛を醸成するとともに、人との絆や心のつながりあふれる地域コミュニティで住み続けたいと思えるまちづくり」という意味が込められています。この将来像を実現するため清水町は、強みを活かして課題を克服し、持続可能なまちづくりに本気で取り組んでいます。未来の子どもたちや、これまで清水を支えてくれた全ての方々のために、寄附金を活用しています。

※項目を指定しない寄附は、「指定なし」としてお受けいたします。

安全・安心に暮らしつづけるまち事業
環境保全事業、防災対策、交通防犯対策などの安全・安心な生活環境確保に活用します。

健やかで笑顔あふれるまち事業
健診事業の充実、高齢者福祉サービスの充実、少人数学級の推進、子育て支援事業の充実に活用します。

学びから生きる力を育むまち事業
高校振興の充実、文化芸術活動の推進、スポーツ活動の推進などに活用します。

地域資源と産業を活かし挑戦するまち事業
農業の生産基盤整備、地場産品の推進、商店街の賑わい創出などに活用します。

快適で安らぎを感じられる住みよいまち事業
公共交通の利便性向上、人が集い憩える公園・緑地の維持、移住定住と交流の推進などに活用します。

多様なつながりで協働するまち事業
町民主体の住民活動の推進、広報広聴の充実による魅力の発見と情報発信事業、多文化共生の推進などに活用します。

ふるさとチョイス　楽天ふるさと納税

ふるさと納税担当まで、お気軽にお問い合わせください！ ▶ 北海道清水町役場 企画課企画統計係 tel.0156-62-2114

仕事は変えず、住まいを変えて
清水に暮らす
清水なら理想の暮らしを実現できます

暮らしやすいまち
お得な商品満載の「しみずマルシェ」を年10回開催
●スーパー、コンビニ、衣料品店、飲食店など、必要な買い物は町内で可能
●病院・医院、歯科と医療機関が充実
●街中を巡る「コミュニティバス」や「買い物銀行バス」の利用で買い物も通院もらくちん

子育てしやすいまち
保育所　新保育所令和2年完成。生後10か月のお子さまから保育が可能。充実した環境で安心の保育が受けられます。第2子以降のすべての年齢が保育所、幼稚園の保育料及び給食費が無料。
学校　「しみず教育の四季」みんなで子どもたちを支援する教育を展開。小学校は少人数学級を編成。きめ細かな教育を実施しています。中学校はタブレットPCが1人1台! 学習に活用しています。小中学校の修学旅行費は全額を助成! 小中学校のチャイムは♪オリジナルメロディ「ベートーヴェン第9」♪ 清水高校は総合学科の多彩なカリキュラムから進路に応じた選択ができる道内で初めての総合学科の高校。
第1子10万円～第3子以降50万円
●出産祝い金、バースデーブック、ブックスタートでの絵本のプレゼント、乳幼児の定期予防接種費用が無料、18歳以下のお子さまの医療費を全額助成など多種の支援策があります。

楽しいまち
季節折々の楽しいイベントがもりだくさん
春　十勝清水やきもの市、御影桜まつり、十勝若牛アスパラまつり
夏　清流まつり、清水公園FESTIVAL、納涼盆踊り、清水バル、トラックマーケット、みかげふぇすてぃばる
秋　十勝清水肉・丼まつり、トラックマーケット、十勝清水にんにく肉まつり、しみずウオーク
冬　新年氷上まつり、しゃっこい祭り
●ご当地グルメの「十勝清水牛玉ステーキ丼」や「牛とろ®丼」、「豚丼」のほか、「鳥せい」「パンケーキ」「ソフトクリーム」などの名店など、家族でお食事を楽しめる飲食店や居酒屋が20軒以上!
●7月からスケートができるアイスアリーナ、ボートやお花見、散歩、PGの名所の清水公園、なつぞらの数々のシーンを飾った円山展望台周辺などアクティビティも多数

住みやすいまち
●帯広市内まで車で40分、御影～西帯広間は20分、余裕の通勤圏
●札幌へ車で2時間（十勝清水IC～札幌南）、JRは最短2時間9分で乗り換えなし、高速バスも1日4往復運行で、お出かけもらくらく
●お手頃価格の住宅地は、帯広市の4分の1以下の1坪約2万3千円
（R1年基準地価平均）
●清水町に家を建てると最大100万円を助成します。
●町内の民間賃貸住宅に入居された方に、年間12万円、さらに15歳以下のお子さま1名につき年間6万円を助成します。

移住へのサポート
建設業協会と町が委託契約を結び、住宅関連の相談をしっかりとサポートします。
移住支援住宅　最大1年間利用できる仮住まい住宅。住宅の完成までの期間の利用や賃貸住宅を探している期間などにご利用できます。家賃（月額）は15,100円、20,200円!
移住体験住宅　清水町での生活を体験する移住体験住宅を3棟用意しています。1週間～1か月の期間ご利用いただけます。

「住」「職」「暮らし」に関することは、お気軽に担当者にお聞きください。
清水町役場 商工観光課 移住定住促進係
〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目2番地　TEL 0156-62-1156
E-mail machi3@town.shimizu.hokkaido.jp　FAX 0156-62-5116
清水町の情報を発信中!
▶清水町HP http://www.town.shimizu.hokkaido.jp/
▶Facebookもあります

とっておきの魅力教えます！！

みてコレ！ 十勝わがまち自慢

みてコレ！ 歓喜のみちしるべ 清水と全国を結ぶ 歌のかけはし

清水町で初めて第九合唱団が結成されたのは、1980（昭和55）年。新しく出来た清水町文化センターのこけら落としとして、せせらぎ合唱団が中心となって264人の町民合唱団を編成し、ベートーベンの交響曲第九番を歌い上げ、全道、全国の「第九」ブームに火を付けました。

せせらぎ合唱団は、1972（同47）年1月に結成され、清水高教諭の高橋亮仁さんが指揮を務めました。高橋さんとせせらぎ合唱団、町民第九合唱団の汗と涙が感激の嵐の中で光りました。東京公演を実現するなど公演活動は、約710回となりました。

町内の保育所・幼稚園・小・中学校・高校では第九の合唱の取り組みを行い、文化祭や合唱祭で合唱を行うなど、小さいころから「第九」に触れる環境となっています。定期的に演奏会が過去8回にわたり行われ歌い継がれてきましたが、2018（平成30）年を最後に、コロナ禍の影響などで中止になっています。

いつか歓喜の歌声が再びここ文化センターから全国に広がっていくことを夢見て、今私たちができることで、「第九のまち清水」をアピールしていきたいです。

（地域おこし協力隊・伊藤隼）

昭和55年12月7日に開催された「第九交響曲演奏会」が収録されたレコード

木村悦子（きむら・えつこ、写真左）

1978年生まれ、東京都出身。町独自の婚活支援事業「コイノヨカン（恋の予感）」プロジェクトをきっかけに移住を決意。今年7月から地域おこし協力隊として、商工観光課で観光・移住推進を担当。「移住者同士のコミュニティの場をつくりたい」と話す。

中田幹悟（なかた・かんご、写真中央）

1996年生まれ、秋田県出身。長野の農業大学校を卒業後、札幌の農業法人に就職。動画制作に興味を持ち、今年8月から企画課でまちの宣伝協力員を担当。公式YouTubeチャンネル「うっちゃんねる」にて、町内外に魅力を発信している。

伊藤隼（いとう・はやと、写真右）

1986年、浦河町出身。大学卒業後、高校教諭を5年経験。昨年5月から企画課ふるさと応援協力隊員として、ふるさと納税返礼品の広報を担当している。「人をサポートする仕事が好き。地域おこし協力隊の仲間と町のPRに従事していきたい」と話す。

みてコレ！ 牧草のみで牛を飼う「グラスフェッド」で育ったミルク

町内の宮地牧場では、グラスフェッドミルクを使用した乳製品を製造している。ミルクの優しい風味が楽しめる軽やかなバターと爽やかな酸味が特徴のフロマージュブランが同牧場の通販サイトで購入できる。「グラスフェッドバター」（100g、270円）、「グラスフェッドフロマージュブラン」（120g、1620円）。清水町旭山539。

みてコレ！ 広大な畑の中にポツンとある一軒家のうどん屋さん

「麦や」は、道産小麦粉100％使用の手打ちしたもちもち食感の麺と、広尾の昆布と3種類の鰹節で引いた薄味つゆの関西風うどんが楽しめる。おすすめは、「ごぼう天うどん」、「とり天うどん」、各800円。日高山系を背景に畑に囲まれたロケーション、窓から見えるサイロ、霊峰剣山の美しい景色を堪能できる。清水町旭山83。午前11時から午後3時　月、火曜定休。

みてコレ！ カリカリっと食べ応え 袋が空になるまで止まらない

JA十勝清水町の「とかリット」は、ブランドにんにく「十勝清水にんにく」をパウダーにし、シーズニングとして使用。にんにく旨塩味、焦がしにんにく醤油味、海老アヒージョ味の3種がある。それぞれ食べ比べをして、お気に入りを探してみて。帯広空港、帯広地方卸売市場、藤丸、とかちむら、らららマルシェ、ハピオなどで取り扱っている。

Fresh & Safety 宣言　素材にこだわる。

家族の笑顔が広がる団らんに　鳥せいの“若どり”で！

若どり炭火焼き

若どりから揚げ

ご予約承り中

ご来店、お持ち帰りのご予約・お問い合わせは、お近くの鳥せいチェーンまでお気軽にどうぞ

清水本店　上川郡清水町南1条2丁目　☎0156-62-2989
帯広西25条店　帯広市西25条南3丁目　☎0155-37-8989
札内店　札内駅前　☎0155-56-2006
帯広中央店　帯広市西1条南10丁目　☎0155-23-8989
音更木野店　音更町木野大通西9丁目　☎0155-31-2989
中札内店　中札内村東1条南3丁目　☎0155-67-2201
帯広大通店　帯広市大通南19丁目　☎0155-22-8989
芽室店　芽室町本通り3丁目　☎0155-62-2989
広尾店　広尾町西1条11丁目　☎01558-2-2989
帯広わかば店　帯広市西18条南5丁目　☎0155-36-8989
鹿追店　鹿追町栄町1丁目　☎0156-66-2989
本別店　本別町北4丁目1-9　☎0156-28-0298
帯広西北店　帯広市西12条北1丁目　☎0155-34-8929
帯広藤丸店　藤丸デパート地下1F　（から揚げ専門店）☎0155-24-2101

若どりの鳥せいチェーン

本部／株式会社 鳥せい商事　上川郡清水町北3条5丁目5番地　☎0156-62-3061